

診療科紹介：外科（乳腺外来）「乳がん死ゼロを目指して」

日本人女性の乳がん罹患率（乳がんにかかる率）は急激に増加しており、もっとも新しい医療統計（平成16年）では、23人の女性に1人が乳がんにかかると言われていました。年齢では40歳代、50歳代の方に乳がんが多発しており、30歳代でかかる方も少なくありません。

乳がんは、早期に発見し治療を行えば治せる病気です。以下、当科での取り組みをご紹介します。

① **早期発見**：触診で発見不可能な、マンモグラフィのみで指摘できる病変（主に石灰化）に対して、マンモトームといった最新の機器を揃え、早期発見に努めています（図）。

② **早期乳がんの手術**：低侵襲手術である乳房温存療法を中心として、患者さんの希望、状況に応じた術式を選択します。2006年度の乳房温存率は63%でした。また、術前検査でリンパ節転移がないと判断される症例にはセンチネルリンパ節生検を行い、腋窩リンパ節を温存する方法をとります。

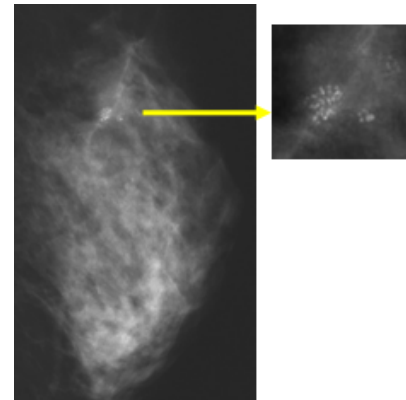
③ **科学的根拠に基づいた術後薬物療法**：近隣の医療機関（浜松オンコロジーセンター、乳腺外科神田クリニック）と定期的にカンファレンスを設け、最新のエビデンスを参考に術後の患者さんに対する治療方針を決めています。

④ **局所進行乳がんに対する術前化学療法**：しこりが大きい場合は、手術前に化学療法を行ってしこりを小さくしてから、乳房を温存する方法を行っています。

⑤ **再発乳癌の治療**：患者さんのQOL（生活の質）を維持しながら長期間の生存を得ることが目的です。患者さんの状況に応じて薬物療法や放射線療法を選択し、ペインコントロールなども緩和医療チームと連携しながら対応しています。

私たちは、一人一人の癌の性質に応じた最適な治療方法を提供しています。

（外科・徳永 祐二）



〒432-8580 浜松市中区富塚町 328

TEL 053 (453) 7111 : FAX 053 (452) 9217

URL <http://www.hmedc.or.jp> : E-Mail koho@hmedc.or.jp

《編集後記》 予定より遅くなりましたが、当院ホームページが完成しました。もう、ご覧になっていただきましたでしょうか？

皆さんが求める情報がすぐ見られるホームページを目指して作成しました。今後も皆さんに親しんでいただけるホームページになるよう頑張ります。

発行：広報委員会

ふれあい



※ 写真は、病院ボランティア「しらゆり」の皆さんです。医療センターでは、赤いエプロンをつけたボランティアの方々に活動いただいています。いつも素敵な笑顔で患者の皆さんをサポートしてくれています。

目次

- ◎ ～ リストバンド装着のお願い ～
- ◎ ボランティア活動「しらゆり」
- ◎ 市民公開講座「よくわかる！がんの話」
- ◎ 休日外来診療費の計算を始めます！
- ◎ 診療科紹介：外科（乳腺外来）
- ◎ 編集後記：ホームページリニューアルしました！

～ ご自由にお持ち下さい ～

～ リストバンド装着のお願い ～

当院では、患者ご本人であることの確認方法としてお名前をおっしゃっていただいております。このたび誤認防止をより徹底し、安全な医療を行っていくために、リストバンドを装着していただくこととしました。

入院中又は外来処置室で、氏名・性別・生年月日・血液型・診察券登録番号が印刷されたリストバンドを手首に装着していただきます。

このリストバンドの使用によって、ご不便や違和感があるかとは存じますが、私ども病院の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

開始日：平成20年1月4日（金）

対象：入院中患者・外来処置室を利用される外来患者

表記内容：氏名・性別・生年月日・血液型・診察券登録番号

休日外来診療費の計算を始めます！

平成19年12月から、休日（土・日・祝日・年末年始）の外来診療費の料金計算を行います。

また、自動支払機で外来・入院診療費（一部診療費を除く）のお支払いもできますので、ご利用願います。

「外来診療費の料金計算」と「自動支払機の稼働時間」 8:30～17:00《土・日・祝日・12月29日～1月3日》

ボランティア活動、「しらゆり」

昭和52年に、当時の第2代小張院長が欧米の病院ボランティアレディを、何とか当医療センターに取り入れて、主婦のためのボランティア講座に病院ボランティア講座を設けられました。講座修了後活動を始めた当時は、「しらゆり」「かたりべ」「かたばみ」の3つのグループがありました。「しらゆり」は病院ボランティアとして、「かたりべ」は朗読、「かたばみ」は縫製のボランティアとして、それぞれ独立して今日に至っております。

現在「しらゆり」の会員数は、約80名、うち男性は6名です。月曜から金曜日まで、それぞれ曜日ごとに15～20名が赤と白のストライプのエプロンをつけ、病院の色々なところで活動しています。① 正面玄関での総合案内補助、初診受付、入院案内。② 入院患者の病棟からリハビリ室までの送迎。③ 移動図書館として、ワゴンで病棟を巡回し、本の貸し出し。④ 2号館9階と6階で童謡や唱歌などを歌って患者とのふれあい活動など。時間は9時30分から11時30分までの2時間です。

患者さんと病院のパイプ役として、「あたたかい心と責任感」会員一人ひとりはお小さくても、地道に真面目に活動を積み重ねてきました。本年度は30周年と「緑綬褒章受章」が重なり喜びで一杯です。受章に恥じないよう気を引き締めていきたいと思っています。（しらゆり代表・原田 静子 記）



◎ 市民公開講座「よくわかる！がんの話」を開催します。

今年度から始まった市民公開講座も、市民の皆さんの多数のご参加をいただき、早くも3回目を迎えることができました。今回の公開講座のテーマは「よくわかる！がんの話」です。昨年10月に開催した「がんの予防と健診」につづく、がんシリーズ第2段です。最新医療技術と乳がんについて専門医がよくわかるお話をいたします。是非、お越しく下さい。詳しくは新しくなったホームページ（<http://www.hmedc.or.jp>）、または、院内に掲示してあるポスターをご覧ください。

- 日時 平成20年1月19日（土） 14時から16時30分（13時30分開場）
- 場所 アクトシティ浜松コンgresセンター31会議室
- 講師 浜松オンコロジーセンター 渡辺 亨 先生 「世界一わかりやすい乳癌治療の話」
浜松医科大学 鳥塚 達郎 先生 「がんの診断 — PET検査で何がわかるか —」
県西部浜松医療センター 飯島 光晴 先生 「ご存じですか？放射線治療のこと」

